

採石法の適用に関する協議における根拠資料 作成要領

1. 位置図
最寄りランドマークより、採取する場所に至ることのできる情報が明示されたもの。
2. 字図
字図に、採取影響範囲を赤枠で明示したもの。なお、写しを用いても可
3. 採取面積の根拠となる資料
以下に示す面積の算出根拠、及び算出数量を明示したもの。なお、他の根拠資料での併記可。
 - (1) CAD、プランメータによる計測
 - (2) 土地登記簿より引用
 - (3) 公式による算出（正方形の公式、ヘロンの公式等）
4. 採取量の根拠となる資料
以下に示す採取量の算出根拠、及び算出数量を明示したもの。なお、他の根拠資料での併記可。
 - (1) 平均断面法による算出
 - (2) 公式による算出（錐（すい）の公式等）
5. 採取場所の地形
高低差最大の断面を含む、最低 1 断面以上の現況及び採掘計画断面を明示したもの。
（ポール横断も可）
6. 下流の利水の状況
採取場所流末より 2 km 下流、または一級河川、若しくは二級河川までの排水ルートを明示したもの。なお、位置図に併記可。
7. 人家等
行為範囲より 300m 範囲、及びそれ以内にある人家等を明示したもの。なお、位置図に併記可。
8. 搬出路
 - (1) 場外搬出ルートにおける最小幅員断面を含む、最低 1 断面以上の現況断面。
 - (2) 搬出ルートを明示したもの。なお、位置図に併記可。